

特 集



あべのハルカス

編 集 委 員 会

1. はじめに

高さ日本一の超高層複合ビル「あべのハルカス」が、3月7日にグランドオープンしました。これまで日本一であった横浜ランドマークタワー（296.33m、1993年竣工）の高さを21年ぶりに更新し、「300m」という壮大な建物が誕生しました。新しい立体都市として、百貨店・ホテル・オフィスなどが集まり、また、展望台・美術館・大学のサテライトキャンパス・医療関連拠点も集積したことで高い集客力を誇ることとなります。これまで梅田をはじめとする「キタ」地区に集中していたオフィス集積拠点を「阿部野、天王寺」地区にも分散することで、ビジネスの情報発信の多様化が期待されています。

2. 建物概要

所 在 地：大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43

事 業 主：近畿日本鉄道株式会社

設 計 監 理：株式会社 竹中工務店

施 工：竹中工務店・奥村組・大林組・大日本土木・
銭高組共同企業体

主 要 用 途：駅・百貨店・オフィス・ホテル・美術館・
展望台

敷 地 面 積：約 28,700㎡

延 床 面 積：約 306,000㎡（タワー館：約 212,000㎡）

構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造

階 床 数：地下5階、地上60階

建 屋 高：地上300m

開 業 日：2014年3月7日

特集

3. 昇降機設備について

■ シャトル用エレベーター

6台の60人乗りシャトルエレベーターが納入されています。地下のB1階は駅のコンコース、1、2階は美術館や展望台の入口となり、また上階は16階が展望台への乗り継ぎや美術館、17階はオフィスのスカイロビー、19階がホテルロビーとなっています。そのため一様の群管理では対応できず、曜日や時間によって群管理台数や停止階をフレキシブルに変更できる機能を持たせ、監視盤で設定できるようにしています。地上階の乗場デザインはガラスを基調とした透明感あるデザインとし、周囲の景観や眺望ともマッチする、まさに建物コンセプトである「晴るかす（ハルカス）」の名のとおり、心も晴れやかにわくわくするようなものとなっています。

かご内の天井照明はダウンライトのみとシンプルですが、シースルーエレベーター（外壁側S1 - S3号機）のみ調光機能があり、室内光によるガラス反射を防止して夜景を存分に楽しんでいただけるような配慮がなされています。

■ オフィス用エレベーター

オフィス用エレベーターは「スカイロビー方式」を採用しており、B1階から17階までは6台のシャトルエレベーターで移動し、17階で3バンク（各6台）のローカルエレベーターに乗り換えます。

ローカルエレベーター（低層・中層バンク）の西側3台は、かご背面をシースルーとすることで開放感を演出し、その他号機は背面側を一面のガラス光壁とすることで落ち着いた雰囲気醸し出しています。

■ ホテル用エレベーター

ホテル専用としてシャトルエレベーター2台、ローカルエレベーター5台が納入されています。いずれのかご内も不燃木（デザイン模様）で形成され、また操作盤などの金属部分にはカーステนレスを採用し、高級感ある落ち着いた雰囲気のエレベーターとなっております。ホテルロビーにあたる19階の乗場扉にはデザイン模様のレリーフ塗装を、ホールランタンには建物側の吊り下げ式モニュメントと一体となったデザインを採用し、宿泊やレストランを利用されるお客様に「最高のおもてなし」をデザイン面から提供します。

■ 展望台用エレベーター

16階の展望台入口から60階の『ハルカス300(展望台)』までを一気に結ぶシャトルエレベーターがTG1、2号機です。展望台に向かう人々を輸送する機能に加え、建物最大の魅力であるハルカス300（展望台）への期待を高めることがこのエレベーターの使命です。

建物内部に配置されたシャトルエレベーターでの移動は、乗り心地の良さもあり、変化のない退屈な空間になりがちです。本エレベーターは、本来密閉空間であるエレベーターかご室から一般的には見られない昇降路を見ることができます。ビルの内部に貫通する207mの垂直空間を直接見て、秒速6mで昇降するエレベーターの速さ、高さそして浮遊感が体感出来るようになりました。

かご室天井と背面壁をガラスとし、後落としの釣合おもりとかごとの間にLEDを設置したパネルをしきつめることで、昇降路内を光の演出空間としているのがこのエレベーターの特徴です。LEDは、展望台への昇降を飛行機のフライトに見立て、流星群（星のシャワー）をコンセプトに配置。単調な演出にならないようにLEDの配置に工夫を凝らしています。

かご内には、エレベーターの動きと連動したかご内天井照明制御とBGM制御とが、乗り込んだ人々を自然にエレベーターが演出する空間へと引き込み、そして展望台へ送り届けるよう工夫されています。また、エレベーターかご室の高さと速度を直感的に感じられる高度表示ディスプレイもさりげない演出の1つです。

58階から60階へ向かうエレベーター（T1号機）はガラスで覆われる昇降路となっており、決められた昇降路サイズの中で補強や配線のレイアウト、ビスなどの目隠しや塗装を施し、昇降路を見せることを意識して設計されたエレベーターとなっております。

■ 百貨店用エレベーター

センターエレベーター（DG5 - 7号機）は、あべのハルカス近鉄本店の今回新築したタワー館と、旧新館を順次改修したウイング館との階間接続をする吹き抜け空間に配置されたインドアオープンエレベーターです。タワー館とウイング館との接続部分の中央に配置されたエレベーターであるため、可能な限り視界を遮らず人がスムーズに建物間を流れていくよう、透明感を重視し、乗場の戸はガラス面を広く、ドア装置は鏡面のカバーで覆

特集

うことで存在感をなくすよう工夫されています。また、昇降路はかご枠よりも昇降路側にエレベーター機器が突出してこないよう鉄骨調整段階からレイアウト及び機器の固定方法を調整し、レールのジョイント個所や着床検出装置などの昇降路機器が可能な限り目立たない位置になるよう配慮されています。

昇降行程 72.15m と高揚程のインドアオープンタイプであり、かご内からは百貨店各階売場状況が層となり視覚に飛び込み、お客様の興味と購買意欲をかきたてます。また、12階より上ウイング館の屋上を抜けると、突如として遮るものなく大阪の眺望が広がるため、建物内部と大阪市街の視界の変化が楽しめます。

西エレベーター（DG1 - 4号機）は、百貨店であるB2から14階に着床する4台併設のエレベーターです。かご内は、DG5 - 7号機とデザインを合わせており、天井の格子ルーバーは百貨店1階入口建築天井とデザインを統一するため、共通の建築支給品を使用しています。また、かご内店内案内板は1枚のブラックフェースアクリルを横に通し、15度の角度をつけることで、デザイン性と視認性の両立を図っています。

従業員の方が使用するエレベーターとして、エレベーター5台が群管理できるようになっています。各エレベーターはエレベーター監視盤に設置した群管理切り離しスイッチにより、群管理グループから独立して運転できるようになっています。出入口は搬入物の出し入れを考慮して間口を広くした4枚戸中央開きの仕様です。かご内の壁にはステンレスヘアライン仕上げが採用され、傷に強い仕様となっています。さらに天井の一部を折り上げ、丈の長い物の搬入も可能となっています。

■タワー館・ウイング館連絡用エスカレーター

タワー館とウイング館とを接続する連絡用エスカレーター24台は、新築建物と既存建物とを接続するため、エスカレーターの受梁部はスライド床構造としています。また、エスカレーターの両サイドには強化ガラスの落下防止フェンスが設置されています。

■用途間連絡用エスカレーター

あべのハルカス近鉄本店から美術館や展望台入口、オフィスロビーへつながる用途間連絡用に、階高11.78mのダイナミックな高揚程エスカレーター2台を含む計6

台のエスカレーターが設置されています。16階と17階との間に設置されている2台のエスカレーターには外装材に強化合わせガラスを採用しており、側面部は落下防止フェンスを兼ねたデザインとなっています。

■公共施設用エスカレーター

公共施設用には、B1階から2階までの間にエスカレーターが4台、設置されています。利用者がいない時には、無人時微速運転で待機する省エネルギー仕様となっています。

■美術館用エレベーター

美術館へアクセスするエレベーターは、シンプルな、オフホワイトで統一された塗装デザインとなっています。本エレベーターは、非常用エレベーターでありながらも一般のお客様が搭乗されることから、通常では非常用エレベーターに装備しない火災時管制運転やクーラーが装備され、快適で安全な空間となっています。

特集



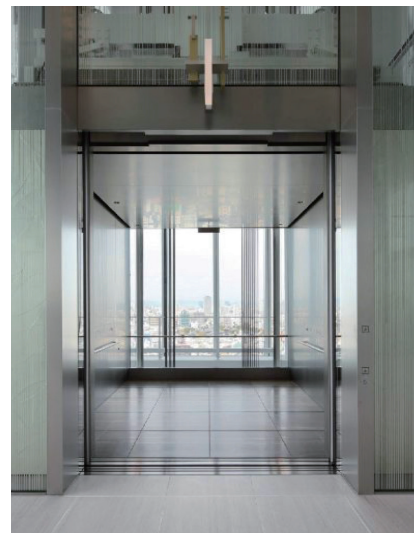
シャトル
B1 階エレベーターホール



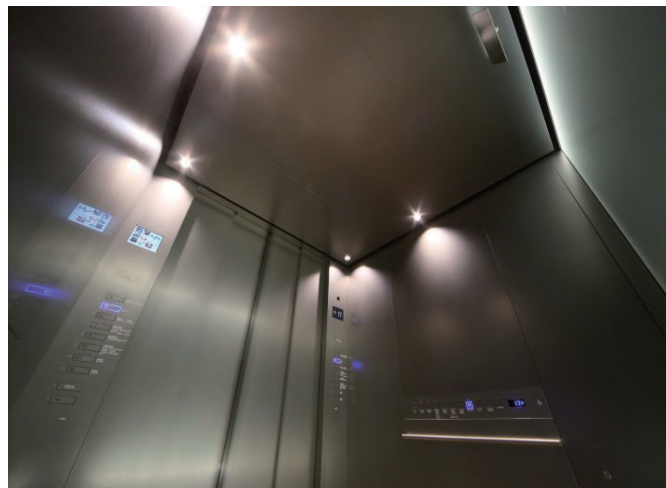
シャトル
B1 階エレベーターホール



シャトル
17 階エレベーターホール



シャトル
かご内



シャトル
かご内

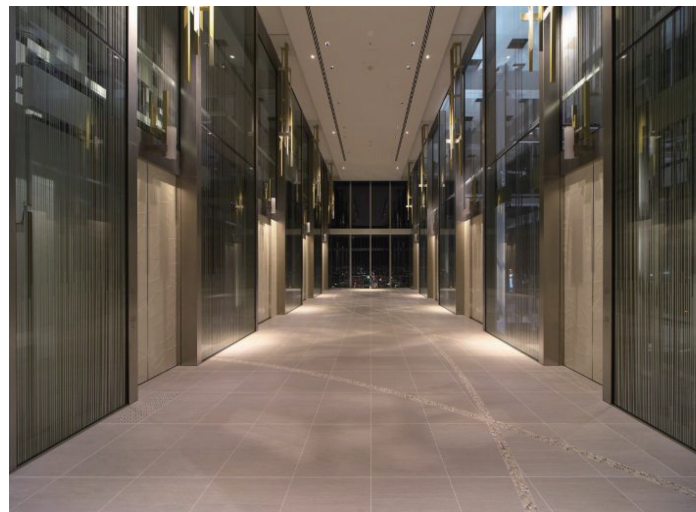
特集



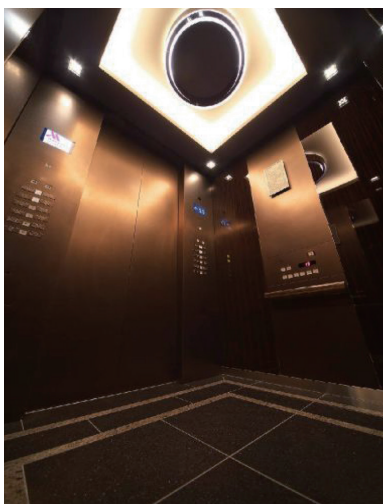
オフィス
かご内



オフィス
かご内



ホテル(シャトル)
19階エレベーターホール

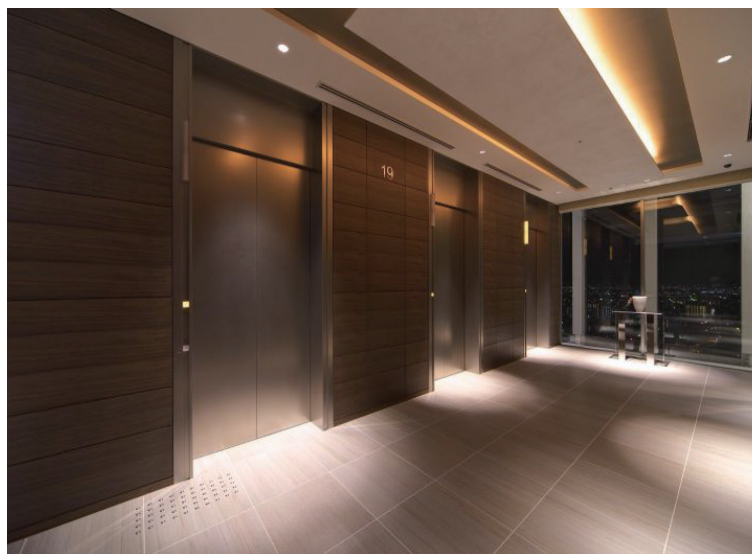


ホテルシャトル
かご内

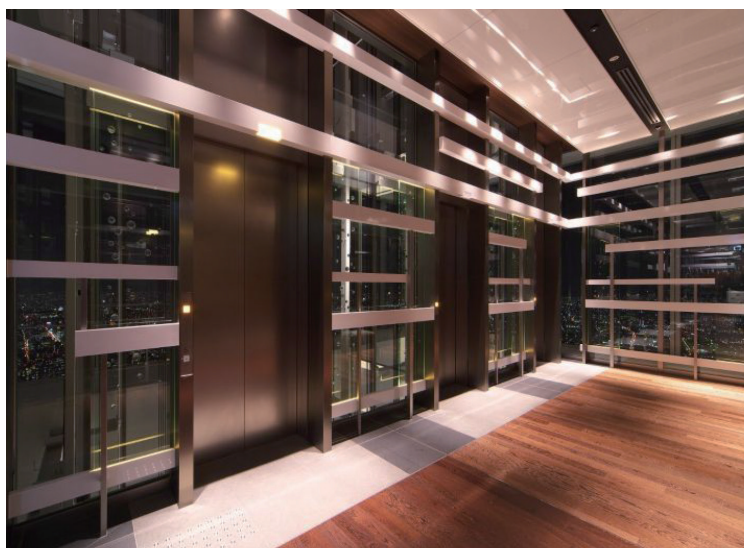


ホテルシャトル
かご内

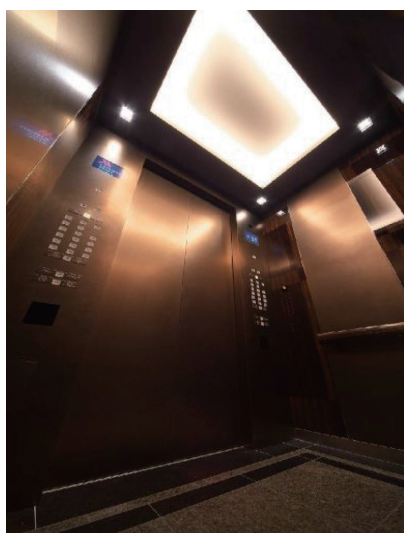
特 集



ホテル（ローカル）
19階エレベーターホール



ホテル（ローカル）
57階エレベーターホール



ホテルローカル
かご内



防災センター
昇降機監視盤

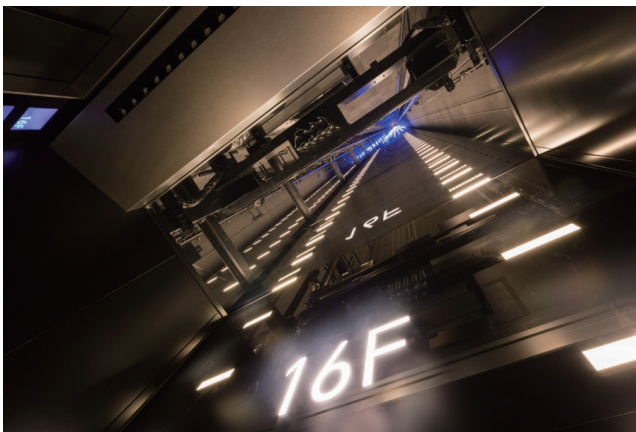
特集



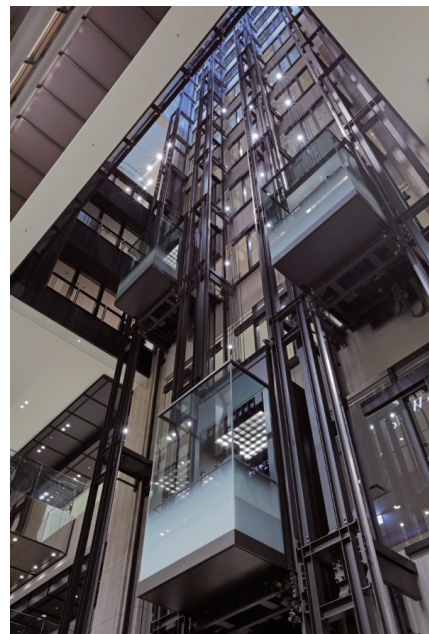
展望台行きエレベーターホール



百貨店エレベーターホール



展望台行きエレベーター昇降路内演出



百貨店エレベーター昇降路外観



展望台行きエレベーターかご内



百貨店エスカレーター

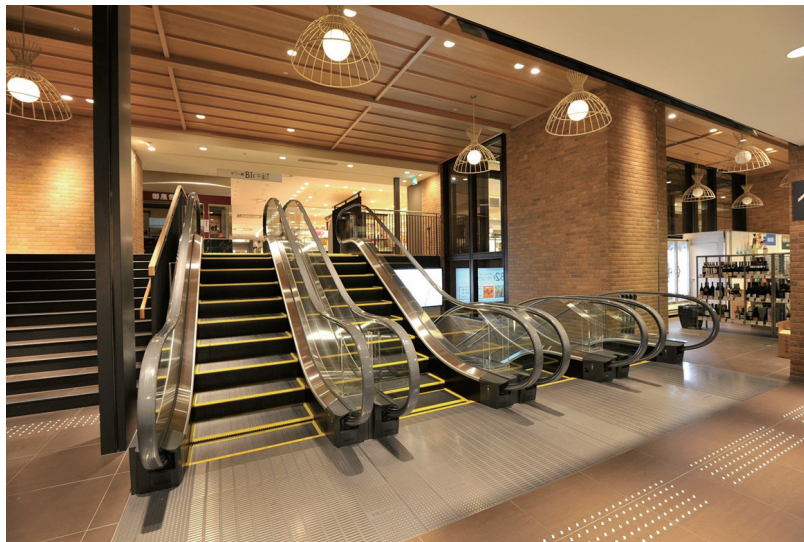
特集



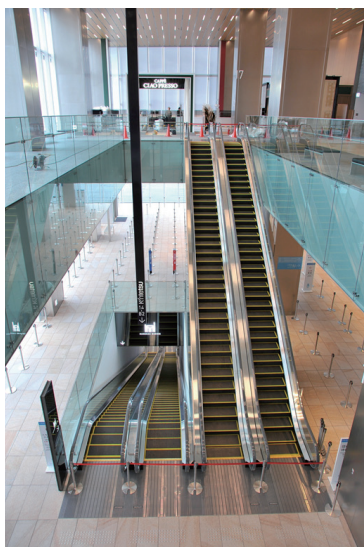
タワー館・ウイング館連絡用エスカレーター



タワー館・ウイング館連絡用エスカレーター



タワー館・ウイング館連絡用エスカレーター



用途間連絡用エスカレーター



公共施設用エスカレーター

特集

エレベーター仕様 (計 56 台)

バンク	号機	用途	制御方式	運転方式	積載質 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考	
シャトル用	S1 ~ 3,6	乗用	インバーター	全自動群管理方式	3950	60	240	4	6 (B1-2,16,17,19)	東芝	S3号機のみ車いす仕様	
	S4	〃	〃		3950	60	240	1	8 (B4,B3, B1-2,16,17,19)		車いす仕様	
	S5	人荷用	〃		4200	60	240	1	9 (B4,B3, B1-2,15-17,19)			
ホテルシャトル用	HS1	乗用	〃	群乗合全自動方式	1150	17	240	1	6 (B3,B1,1,2,16,19)	東芝	車いす仕様	
	HS2	〃	〃		1700	26	240	1	6 (B3,B1,1,2,16,19)		車いす仕様	
バック用	EOH	〃	〃	乗合全自動方式	2200	33	300	1	65 (B5-60)	東芝	兼非常用	
	EH	〃	〃	全自動群管理方式	1150	17	300	1	62 (B5-57)		兼非常用	
	OB	〃	〃		2200	33	240	1	39 (B4-18,21-37)			
	MOHB	人荷用	〃		1800	26	210	1	61 (B4-57)			
展望台用	TG1,2	乗用	〃	群乗合全自動方式	2050	31	360	2	3 (16,59,60)	三菱	TG2号機のみ車いす仕様	
	T1	〃	〃	乗合全自動方式	900	13	60	1	3 (58-60)			
美術館用	EM	〃	〃	〃	1150	17	150	1	22 (B4-17,19)	フジテック	兼非常用、車いす仕様	
コンコース用	P1	〃	〃	〃	1200	18	60	1	4 (B3,B1-2)	東芝	車いす仕様	
オフィス用	OG1-6	〃	〃	全自動群管理方式	1150	17	105	6	7 (17,18,21-25)		OG4号機のみ車いす仕様	
	OG7-12	〃	〃	〃	1600	24	180	6	8 (17,18,25-30)		OG10号機のみ車いす仕様	
	OG13-18	〃	〃	〃	1600	24	210	6	9 (17,18,25,31-36)		OG16号機のみ車いす仕様	
ホテル用	HG1	〃	〃	〃	1350	20	240	1	22 (19-21,38-55,57)	東芝	車いす仕様	
	HG2-5	〃	〃		1350	20	240	4	21 (19,20,38-55,57)			
	HB	人荷用	〃	乗合全自動方式	600	9	45	1	2 (19,20)	フジテック		
百貨店用	DG1-4	乗用	〃	全自動群管理方式	1600	24	150	4	18 (B2-14,16,17)	三菱	DG1号機のみ車いす仕様	
	DG5-7	〃	〃	〃	1700	26	105	3	16 (B2-14)		DG5号機のみ車いす仕様	
	DB1	人荷用	〃	〃	〃	1600	24	105	1	17 (B3-14)	日立	
						2650	40	105	1	17 (B3-14)		
						2000	30	105	3	17 (B3-14)		
	DG9-1	乗用	〃	乗合全自動方式	750	11	60	1	3 (B2,B1 (ｸﾞｰﾝ), B2 (ｳｲﾝｸﾞ 館))	三菱	車いす仕様	
	DG9-2	〃	〃	〃	750	11	60	1	5 (3,4 (ｸﾞｰﾝ), 3,3,5,4 (ｳｲﾝｸﾞ 館))		車いす仕様	
DG9-3	〃	〃	〃	750	11	60	1	4 (8,9 (ｸﾞｰﾝ), 8,9 (ｳｲﾝｸﾞ 館))	車いす仕様			

特 集

エスカレーター仕様 (計 94 台)

バンク	号機	型式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
公共施設用	1.2	S600	透明ガラス	30	1 ~ 2	5860	2	日立	自動運転 (低速待機) ポールレス
	3.4	〃	〃	〃	B1 ~ 1	5490	2		自動運転 (低速待機) ポールレス
百貨店用	5.6	S1000	〃	〃	B2 ~ MB2	1200	2	三菱	自動運転 (低速待機) ポールレス
	7.8	〃	〃	〃	MB2 ~ B1	3100	2		自動運転 (低速待機) ポールレス
	9-12	〃	〃	〃	B2 ~ B1	4600	4		
	13-16	〃	〃	〃	B1 ~ 1	5150	4		
	17-20	〃	〃	〃	1 ~ 2	5300	4		
	21-24	〃	〃	〃	2 ~ 3	5400	4		
	25-32	〃	〃	〃	3 ~ 5	5000	8		
	33-54	〃	〃	〃	5 ~ 12	4600	22		
55-58	〃	〃	〃	12 ~ 14	4750	4			
タワー館・ ウイング館連絡用	69.70	〃	〃	〃	タワー館 B2 ~ ウイング館 B2	2900	2	日立	
	71.72	〃	〃	〃	タワー館 B1 ~ ウイング館 B2	1700	2		
	73-76	〃	〃	〃	タワー館 3 ~ ウイング館 3	1400	4		
	77-80	〃	〃	〃	タワー館 3 ~ ウイング館 3.5	2600	4		
	81-84	〃	〃	〃	タワー館 4 ~ ウイング館 4	1600	4		
	85-88	〃	〃	〃	タワー館 8 ~ ウイング館 8	1200	4		
	89-92	〃	〃	〃	タワー館 9 ~ ウイング館 9	1660	4		
用途間連絡用	95.96	〃	〃	〃	14 ~ 15	6270	2	日立	自動運転 (低速待機) ポールレス
	97.98	〃	〃	〃	15 ~ 16	11780	2		自動運転 (低速待機) ポールレス
	99.100	〃	〃	〃	16 ~ 17	7000	2		自動運転 (低速待機) ポールレス
展望台用	101-104	S600	〃	〃	58 ~ 60	5385	4	三菱	自動運転 (低速待機) ポールレス
オフィス用	105-106	〃	〃	〃	17 ~ 18	4600	2	フジテック	自動運転 (低速待機) ポールレス